

7. 日本本社・海外拠点間でのRicoh IWBの相互接続利用

事例7-1. 日本本社・設計部門と中国・製造部門間での国際遠隔会議 ～Ricoh IWB (インタラクティブ・ホワイトボード) 専用サービス～

【導入プラン】: IX-NET for IWB

- ・IX-Router Mini を利用
- ・中国側、日本側それぞれに1台ずつ設置。

【業種】: 製造業

- ・従業員数: 約100名
- ・利用拠点: 中国、日本

◆ IX-NET 導入の背景・課題

中国国内にある工場の製造担当者と、日本本社の企画・設計担当者による国際間での遠隔会議が頻繁に実施されていた。TV会議システムを使って両者が映像と音声で対話すると同時に、図面の詳細部分の説明にはタッチパネル式のデジタルホワイトボード(Ricoh IWB)も併用していた。

TV会議システムは大手通信キャリアの国際専用通信回線(高額)を利用しているものの、デジタルホワイトボード(Ricoh IWB)同士は一般インターネット経由で接続されていた。

そのため、音声と映像はリアルタイムにスムーズに流れてくるが、デジタルホワイトボード側では相手が書き込んだ文字や絵図の表示遅れや表示されない事象が頻発することで会議そのものに大きなストレスを感じる状況となっていた。

◆IX-NET が選ばれた理由

1. 納得のいく通信品質の確保:

契約前提に事前検証を実施し、既存のTV会議システムとの併用利用においてもタイムラグが発生していないことが確認できた。(検証作業は複数回実施。常にタイムラグが生じていないことが確認できた)

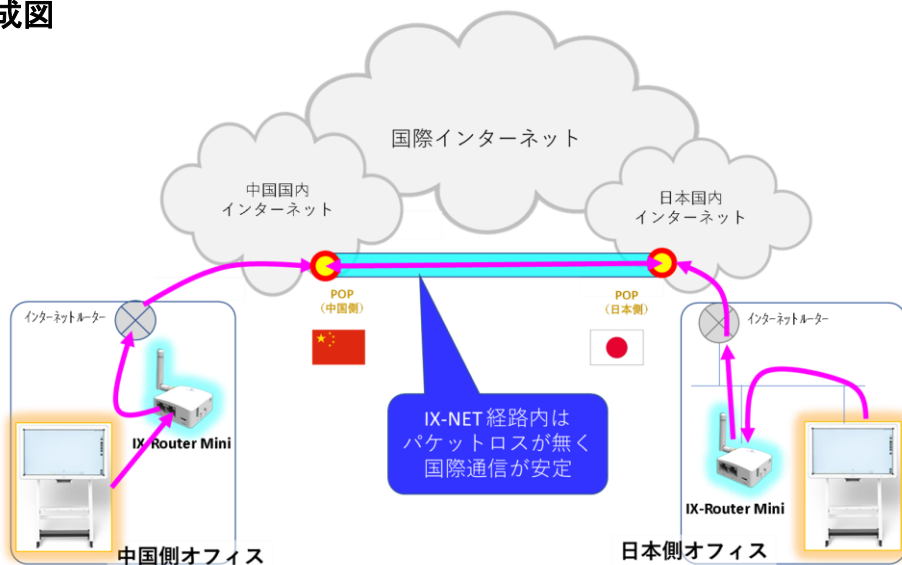
2. 環境構築の簡易性:

電源やLANケーブルを手順書通りに接続するだけで簡単に設定完了できることが検証時に確認できた。

◆導入の効果

TV会議システムでの音声と、デジタルデジタルホワイトボード上に表示される文字や絵図がタイムラグのない常にシンクロされた会議運営ができるようになったことから、無駄な待ち時間や記入された内容の確認の手間もなくなり、会議運営そのものが大変スムーズになったことでストレスも解消された。

◆ システム構成図



※この事例と関連する他の事例

事例6-1. 日本本社への接続、及び日本本社から海外支社の端末監視